

### 今号の主な記事

- ◇保育所4月入所の申込 .....2面
- ◇「西宮タウンミーティング」開催 ...2面
- ◇市営住宅の住み替え募集 .....3面
- ◇「ゆるりみちくさバス」無料運行 ...4面
- ◇消費生活センター特集 .....5面

## 「防災スピーカー」142基を整備



公園や小学校屋上に整備された防災スピーカーから緊急時に放送が流れます。災害への備えを確認しましょう

## 「迅速・確実に」に情報伝達

本市では平成7年の阪神・淡路大震災で多大な被害を受けたことを教訓として、災害に強いまちづくりを目指しています。

災害・危機発生時には、皆さんに迅速で正確な情報を一斉にお知らせすることが被害の軽減にとって重要です。そのため、「防災スピーカー（防災行政無線）」の整備や「さくらFM」での放送、「にしのみや防災ネット」など多様な媒体を使った情報伝達に努めています。

問合せは防災対策グループ(0798・35・3547)へ。

### 防災スピーカー

山、川、海に囲まれた本市は自然が豊かである一方で、土砂災害や洪水、津波などの自然災害に見舞われる恐れがあります。

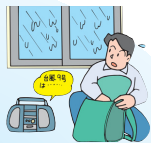
市は、これらの災害などに關する情報を迅速かつ正確に伝達するために、公園や学校などを中心に「防災スピーカー」の整備を推進し、運用を始めています。

これまでに防災スピーカーは100基設置しており、来年3月末までに計142基の整備完了を目指しています。

### いつ放送するの

2月に起こったチリ沖地震で

### さくらFMに 割り込み放送



「さくらFM(78.7メガヘルツ)」は市民生活に密着した番組のほか、台風・大雨などの非常時に緊急情報を放送します。

防災スピーカーから流れる防災・避難情報は、さくらFMにも同時に伝えられ、緊急的に割り込み放送をします。

また、高齢者や障害者の入所施設、小・中学校などの避難所には防災スピーカーの信号を受信し、自動的に起動して緊急放送を行う「緊急告知ラジオ」を配備しています。

は津波注意報の発表と同時に、本市沿岸部の防災スピーカーから注意放送が行われました。防災スピーカーからは次のようなときに放送を流します。

- ◎震度5弱以上の地震が予測または観測されたとき
- ◎津波注意報、津波警報、大津波警報が発表されたとき
- ◎避難勧告、避難指示が発令されたとき
- ◎武力攻撃事態の可能性があるとき

### 地域の防災訓練で活用

地域の防災訓練などで防災スピーカーを使用してもらうこともできます。今年度はすでに、防災スピーカーからの放送を17カ所で行いました。

1カ所だけでも放送することができます。ぜひ、活用してください。希望される場合は、防

◎市から皆さんに特にお知らせすべきことがあるとき など

### にしのみや 防災ネット



QRコード

### 災害情報を メール配信

「にしのみや防災ネット」(<http://bosai.net/nishinomiya/>)=上QRコード参照=は、メール登録者に気象情報をはじめ、避難勧告などの災害情報を配信するものです。現在、登録件数は1万件を超えています。一人ひとりができる災害への備えとして、ぜひ登録を。

### 市長からのメッセージ



河野昌弘市長

今年も局地的な豪雨による水害をはじめ、全国では多くの災害が発生しています。

また、今後30年以内に50%~60%以上の確率で南海地震が発生するといわれ、津波の発生も危惧(ご)されています。

大規模な災害から生命や財産を守っていくには、行政だけでなく市民・事業者それぞれが日ごろから意識を持ち連携して災害への備えを講じていくことが大切です。

現在、地域では自主防災組織

### 力を結集 災害に強いまち

の皆さんが避難誘導や救助活動訓練などのほか、地域防災マップの作成に取り組んでおられますが、この防災スピーカーもぜひ、活用していただきたいと思っています。

本市では平成19年度の機構改革で危機管理を統括する「防災・安全局」を設置し、本年4月からは、あらゆる危機事象に対応していくため「危機管理監」の職を設置しました。市職員への迅速な周知・参集を図る緊急情報伝達訓練などに取り組み、防災・危機管理体制の強化を図っています。

市民の皆さんのご理解・ご協力のもと、災害・危機に強いまちづくりを進めていきます。

### 放送が聞こえたら

防災スピーカーは大きな音声やサイレンで情報を伝えることができますが、風向や天候の影響を受けて聞き取りにくいこともあります。

避難勧告など重要な情報は、テレビ・ラジオでも放送されます。防災スピーカーからの放送が聞こえたら、慌てずにテレビやラジオからの情報収集に努め、落ち着いて行動するように心がけてください。



地域の防災訓練に取り組む皆さん

防災対策グループにご相談ください。